

大田区自立支援協議会 第4回地域生活部会議事録

文責：榎委員（事務局一部修正）

|                |  |        |        |        |
|----------------|--|--------|--------|--------|
| (1) 会議の名称      | 大田区自立支援協議会 第4回地域生活部会   |        |        |        |
| (2) 開催日時       | 令和元年9月17日(火) 10:00~12:00   |        |        |        |
| (3) 開催場所       | 新井宿特別出張所 3階会議室   |        |        |        |
| (4) 出席した委員、事務局 | 宮崎 渉   | 相原 美晃  | 青山 明子  | 伊藤 美和子 |
|                | 大宮 謙一  | 鶴田 雅英  | 相澤 あゆみ | 榎 拓巳   |
|                | 恵良 幸樹  | 大岩 香代子 | 小野 英次郎 | 棧敷 洋子  |
|                | 島村 勝   | 中野 真弓  | 新田 美和  | 山田 悠平  |
|                | 区事務局：西澤、齋藤、親跡  |        |        |        |
| (5) 内容・要旨      | <p>1 議題</p> <p>(1) 各連絡会等の情報提供について</p> <p>鶴田委員：おおた社会福祉士会主催重度知的害のある青年の自立生活をテーマに9/19(水) 19:00~21:00 消費者センター film&amp;風雷社中 中村氏 区議会議員 伊佐治氏がゲストスピーカーとして開催予定。</p> <p>8/31(土)におおたTS ネット主催の意思決定支援に関する研修に参加した。絵カードをツールとして使った日本にあった意思決定支援のあり方のお話が興味深かった。</p> <p>中野委員：居住支援協議会について、非公開であり、所属からの参加者より書類や情報を確認し次回委員会で報告したい。</p> <p>山田委員：障害者権利委員会があり規約審査の国の報告とは別に、市民団体として日本の履行状況を伝える。大田区の活動以外に日本障害フォーラムでの立場を踏まえて状況を伝える。参加後に報告する。</p> <p>(2) 第4回「地域生活部会」で討議や検討する議題の確認</p> <p>ア 平成30年度から引き継いだ課題</p> <p>(ア) 重症心身障がい児・者の地域生活の継続（今回実施）</p> <p>■地域移行・地域生活部会</p> <p>医療的ケアが必要な方々が地域で生活し続けることができるか。どのようなことに困っているのか。また、どのようなことが必要なのか検討してきた。一方で、提供できる居宅支援事業所が医療的ケアに対応できる事業所なのか把握ができていない。アンケートを実施し、対応できるリストを作成したいと昨年度のまとめで考えていた。</p> <p>医療的ケアに対応できる訪問看護の事業所もあるが、対応できない所もあるのが現状といえる。</p> <p>■こども部会</p> <p>障がい者総合サポートセンターB棟開設に伴い、医療的ケア児について考えた時に情報が少なかった。家族会の青山委員を通じて当事者の方にゲストスピーカーを依頼し、お話を聞いた。昨年度は事前知識を共有するところまでだった。B棟が開設してからどんなことができるか、今後の検討が必要だと思う。</p> <p>青山委員：学校で対応できる医療的ケアは胃ろうと吸引は可能。事業所を探す資料のなかで何か所か連絡し断られると親としてはあきらめてしまう。前回のリスト作成のWGで介護分野の</p> |        |        |        |

事業所情報「ハートページ」は区からの配布資料よりは少しは記載してあるが医療的ケア対応までの記載はなし。事業所が見つかりにくい状況のなかで大田区からの配布資料が使いやすくなってくればと協議会で協議が必要。

- ・医療的ケアが対応可能な事業所が少ない。（喀痰吸引）
- ・医療的ケアの対応可能な事業所を増やす検討も必要。
- ・喀痰吸引研修は1、2、3号研修があり1,2号研修は不特定数の利用者3号研修は特定の利用者が対象。

山田委員：障害福祉サービスに係るリスト作成のWGでも医療的ケアサービスが利用できにくいと確認。実際サービスがどのように使えるか、事業所の探しにくさの実態を把握し情報提供したい。

今後、この課題に関しての進め方として

- ・大田区医療的ケア児・者支援関係機関会議と情報交換・共有  
→医療的ケア児・者支援関係機関会議の過去2回の議事録は、ホームページ上に掲示されている。
- ・自立支援協議会からも医療的ケア児・者支援関係機関会議に参加の要請も検討。
- ・重症心身障害児の家族がどうなってくれたら良いか、どこまでできている、できていない等の現状を把握し現実的に捉えることが必要。  
→昨年度も部会で検討してきて議論してきた。そのためにアンケートの必要性があった。今後も引き続き検討。  
また、さぼーとぴあB棟のショートステイ開設に伴う検証も必要。

(イ) 就労を目指す上で、18歳までに必要な準備と障害児サービスのつなぎについては10月実施予定。

### (3) 公開勉強会・公開セミナーについて

テーマ、講師の候補案

- 東京家政大学 田中 恵美子 准教授
- 東京大学 熊谷 晋一郎 准教授
- 早稲田大学 岡部 耕典 教授
- 弁護士 池原 毅和 氏

第一候補として東京家政大学 田中准教授に依頼する。テーマや内容などは今後、詳細を検討していく。

地域生活部会として、どの障がいでも共通して「地域生活の継続」について、地域で暮らすということに課題がある。一つの切り口として、地域で生活について先生に総括してもらうようなイメージはどうか。

一人の先生に基調講演という形で講義いただくのか、パネルディスカッションのようなスタイルなのか。

知的障がい、重度心身障がい、精神障がい、それぞれの課題はあるが、今回の勉強会ですべてを網羅することは難しい。また、広く区民に向けた公開勉強会とするのであれば、テーマを1つに絞って行う方が伝わりやすいのではないかと。今回、出たテーマの案は次年度以降に取り上げるという方法もある。

また、地域事例としてNPO法人風雷社中に参加を提案するのはどうか。

意見や提案がある方は10/8の作業部会に参加してもらい、枠組みの案を出し次回部会で報告する。

### (4) 各WGの振り返り

#### (ア) 発達支援マップの検証

事例検討し図式化して作表。必要な連絡先、名称など記載。今後事例検討を重ねて作表。意見があれば都度、訂正していく。

|  |   |
|--|---|
|  | <p>(イ) 就労定着支援の調査・分析 10月より開始</p> <p>(ウ) 区内施設（日中活動支援）現状確認<br/>アンケート用紙を作成。区内施設、放課後等デイサービスとアンケート用紙を分けた。事業所種別、登録人数、受け入れ可能人数、現在の状況等。アンケートはメールで通知し、無回答事業所は聞き取り調査も検討。</p> <p>(エ) 障害福祉サービス利用に関わるリスト作成<br/>改めてWGの目的と現状の確認。居宅支援について東京都へ提出の事業所開始申請書を参考に、エリア営業時間、サービス内容（分類ごと）、医療的ケア受け入れ実績、従業員数等が既存のリストにはないため、記載があった方が望ましいという意見があった。移動支援について、事業開始申請書には大まかな事業所情報のみであり、申請書の改定の提案が必要。上記に加えて、身体介護あり・なしの対応についての記載が望ましいが事業所としては明言しにくいという意見あり。<br/>次回は訪問看護サービスについて検討する。</p> <p>○10月作業部会<br/>日時：10月8日（火）10時から<br/>会場：さぽーとぴあA棟3階 カンファレンス室<br/>次回部会の役割決めなど</p> <p>次回、第5回 地域生活部会は<br/>日時：令和元年10月15日（火曜日）10時から12時<br/>場所：新井宿特別出張所 3階会議室</p> |
|--|---|